

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		男女共同参画推進事業		男女共同参画社会基本法 備前市男女共同参画まちづくり 条例	
総合計画	大項目	基本目標	05	住民主体の協働のまちづくり	根拠法令・例規等
	中項目	基本施策	02	ふれあい豊かなまちづくり	
	小項目	施策	02	男女共同参画社会の形成	
事務事業名		02	男女共同参画推進事業	担当課(室)	人権啓発課
				職・氏名	男女共同参画係長 高橋幸子
				電話	0869-64-1823

事業の実施		男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われているが、社会的につくられた性別の意識又は性別による固定的な役割分担に起因する課題は今なお存在している。市としては、男女共同参画まちづくりに関する施策を定め、男女が共に支え合い、輝いて生きることができるよう男女共同参画のまちづくりを推進する。	
対 象 (誰・何に対して)	市民・行政・事業者		
目 的 (何のために)	男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われているが、社会的につくられた性別の意識又は性別による固定的な役割分担に起因する課題は今なお存在している。市としては、男女共同参画まちづくりに関する施策を定め、男女が共に支え合い、輝いて生きることができるよう男女共同参画のまちづくりを推進する。		
行 政 活 動 (どのような方法で)	平成19年に5ヵ年計画で23年度を目標年度に策定した基本計画の目標達成に向けあらゆる分野に啓発、推進を行っている。基本計画の数値目標を調査し審議会等に報告し、公表している。		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	男女共同参画社会の形成に当たっては、政策方針決定への女性の参画が促進されることが極めて重要である。基本計画において、政策、方針決定過程への女性の参画の拡大を重点分野の1つとしてあげており、平成23年度を目標とする市の審議会等委員の女性比率を30%にする。		

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	男女共同参画推進委員会(開催数)	回	8	7	10
	男女共同参画推進審議会(開催数)	回	5	2	2
	男女共同参画推進連絡会(開催数)	回	5	3	1
	審議会等女性登用率	%	23.9	26.3	26.5
	市職員の研修会(開催数)	回	1	1	1
実績	直接事業費	千円	2,542	192	211
	必要人員人件費	人	0.70人	0.48人	0.58人
経費	事業費	千円	9,592	4,966	6,035
	受 益 者 負 担 金	千円	743	0	0
財源	受 益 者 負 担 金	千円			
	総 入 金	千円			
その他	市 債	千円			
	一 般 財 源	千円	8,849	4,966	6,035
受 益 者 負 担 比 率		%			

結果指標					
結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	男女共同参画推進連絡会(開催数)	回	5	3	1
	対 前 年 比	%	60.0%	33.3%	
	活 動 コ ス ト	円	705,000	363,780	199,280
	単 位 当 たり コ ス ト	円	141,000	121,260	199,280
結果指標②	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	男女共同参画推進連絡会(開催数)	回	5	3	1
	対 前 年 比	%	60.0%	33.3%	
	活 動 コ ス ト	円	705,000	363,780	199,280
	単 位 当 たり コ ス ト	円	141,000	121,260	199,280

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	目標値(A)	-	-	27	30
審議会等委員の女性登用率	実績値(B)	23.9	26.3	26.5	到達目標年度
	達成率(B/A)	-	#DIV/0!	98.1%	平成23年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
市町村の付属機関として設置された審議会等で委員総数の内女性委員数の割合(地方自治法第202条の3・・・普通地方公共団体の執行機関の付属機関は、法律もしくはこれに基づき政令又は条例の定めるところにより、その担任する事項について、調停、審査、審議、又は調査等を行う期間とする。)					

事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		市の関与の妥当性		妥当性評価<A~E>	A
妥当性の評価	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/>	市が実施するよう法令で義務づけられている	判定理由・課題認識	男女共同参画社会基本法で、男女共同参画社会の実現が21世紀の日本の社会を決定する最重要課題と位置付けている。備前市男女共同参画まちづくり条例にも、市の基本計画の策定の実施の責務が規定されている。
		<input type="checkbox"/>	法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/>	現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	判定理由・課題認識	男女共同参画の推進をしていくためには、意識の高揚は実践に結びつけるための必要手段である。市民、各種団体の民間活力を利用し、基本計画の目標値の検証、調査、意識啓発を進めていくことは有効な手段である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業の内容が一部の受益者に偏っている		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	判定理由・課題認識	基本計画に沿って、市が課題に対応した施策を実現することが有効である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	市民参画度	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている		
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/>	厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		
		<input type="checkbox"/>	類似した事業がある		
	市民参画度	<input type="checkbox"/>	市民・団体等から要望・要請が強い		
		<input type="checkbox"/>	説明		
	市民参画度	<input type="checkbox"/>	単位当たりコストは前年度と比較して改善している	判定理由・課題認識	C
		<input type="checkbox"/>	実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある		
	市民参画度	<input type="checkbox"/>	事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	判定理由・課題認識	B
		<input checked="" type="checkbox"/>	コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい		
	市民参画度	<input type="checkbox"/>	受益者負担率は適正である	判定理由・課題認識	B
		<input type="checkbox"/>	受益者負担率を見直す余地がある		
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	判定理由・課題認識	B
		<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	市民参画度	<input type="checkbox"/>	最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	判定理由・課題認識	B
		<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の設定は適切である		
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	判定理由・課題認識	B
		<input type="checkbox"/>	成果指標達成率は前年度と比較して向上している		
	市民参画度	<input type="checkbox"/>	成果指標達成率は80%未満となっている	判定理由・課題認識	B
		<input checked="" type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	判定理由・課題認識	B
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある		
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/>	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	判定理由・課題認識	B
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている		

平成21年度の状況		2回		結果指標量②		成果指標量		28	
目標値	結果指標量①	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了	
			○						
説明		基本計画で目標設定している目標に向かって引き続き計画を推進する。また、取組状況や達成状況を公表し、啓発を図っていく。							

総合評価		評価区分<A~E>		B	
平成23年度を目標年度とする5ヵ年計画「男女共同参画基本計画」に沿って、数値目標達成に向け、具体的施策の促進をした。		妥当性			

平成22年度以降の方向性・内容		方向性		拡充		現状継続		見直し		縮小		整理統合		休止		廃止・完了	
						○											
説明		基本計画の数値目標を達成するために、引き続き二一三にあったものを企画立案して推進に努める。															
改善がある場合	評価の視点	改善内容				改善時期				改善により期待される効果							